

オオサカハイマック通信

VOL.3 (2018年3月)



スタッフ紹介

副センター長 金井 達明



東京教育大学理学研究科修士課程原子核物理専攻修了。
1974年4月から放射線医学総合研究科 物理研究部の
主任研究官、医学物理部長、物理工学部長を経て、
2009年4月より群馬大学 重粒子線医学研究センター教授に就任。
2017年10月より大阪重粒子線センター副センター長に就任。

お知らせ

2018年3月1日より外来診察を開始しています。
尚、治療開始は2018年10月を予定しています。
診療予約方法等については、ホームページをご覧ください。
<https://www.osaka-himak.or.jp>

アクセス

大阪の中心地に立地した。
大都市ならではの交通アクセス。

最寄駅は、
大阪市営地下鉄谷町線・中央線
「谷町四丁目」駅、徒歩8分

- 新大阪から大阪市営地下鉄御堂筋線「新大阪」駅乗車(約25分)
- 大阪駅から大阪市営地下鉄谷町線「東梅田」駅乗車(約10分)
- その他、伊丹空港から約50分、
関西国際空港から約70分(公共交通機関を利用した場合)



2/7(水) 重粒子線がん治療部位別治療検討ワーキング 泌尿器グループ第1回委員会を開催しました。
委員長の西村和郎先生(大阪国際がんセンター泌尿器科主任部長)のもと府内5大学の関係者にご参加いただき、本年秋の重粒子線治療開始に向けて、プロトコルの検討等行いました。

2/11(日) 市民公開講座を行いました。

市民公開講座は、たくさんの方にお越しいただきました。
重粒子線治療の体験談が聞けてためになりました等のご感想をいただきました。



株式会社日立製作所のEMIEW
(エミュー)がお手伝いに来ました



市民公開講座の様様

2/17(土) 包括連携協定・開院式・内覧会を行いました。

大阪重粒子線センター開院式が無事に執り行われました。
皆様に支えられ、この日を迎えられた事に心より感謝申し上げます。

開院式典では、青柳美扇様(大阪府出身の書道家)に

7尺6曲の巨大金屏風に【^{じゃくずい}鶴瑞】と揮毫していただきました。

^{かささぎ} 鶴の鳴き声は喜びの瑞兆であるとのことから

吉兆の代名詞でもあり、開院式典に花を添えていただきました。

また、同日、重粒子線がん治療研究等放射線の医学利用に関し、相互の活動を協力して推進し、その成果の普及を促進することにより、我が国の放射線医学利用分野の発展及び継承に寄付することを目的として国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と公益財団法人大阪国際がん治療財団は包括協定を締結致しました。



開院式テープカット



揮毫の様子

— 寄附のお願い —

大阪国際がん治療財団では、施設の開設に向け、広く寄付を募っています。
当財団へ寄付いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄付として税制上の優遇措置があります。
詳しくは当財団までお問合せください。

— お問い合わせ —

発行元:公益財団法人 大阪国際がん治療財団
電話:06-6947-3210 ファックス:06-6947-3211
住所:〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-10
HP アドレス:<https://www.osaka-himak.or.jp>

大阪重粒子線センターや治療についての詳細はホームページをご覧ください

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

